



「へえ～」、「なるほど」がいっぱい

旬な現場

～ 普段見られない工事の様子、詳しくお見せします～

平成25年11月15日

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所

普段見ることが出来ない清水港の防波堤製作現場を初公開！

～ 巨大なコンクリートの箱を海中に設置して防波堤を造ります～

1. 概要

中部地方整備局では、河川や道路、港湾の整備における様々な現場を「旬な現場」として見学を受け付けています。（※詳しくは下記HP参照）

このたび、清水港内で整備中の防波堤ケーソン（鉄筋コンクリートの箱）の製作が完了し、海中に設置する作業を行います。そこで、ケーソン製作場から海中に降ろす進水作業及び海中に設置する据付作業について、報道機関の皆様にご覧いただきたく、ご案内いたします。

※「旬な現場」HPアドレス

http://www.cbr.mlit.go.jp/local_info/sougou/contents/shisetsu/construction/index.htm

2. 事業及びケーソンの概要

清水港では、去る5月25日に供用開始した新興津コンテナターミナル第2バースの荒天時における前面泊地の静穏度を確保するため、防波堤の整備を国直轄事業で行っています。

この防波堤は「ケーソン」と呼ぶ鉄筋コンクリートの箱形の構造物を海中に並べて造っています。

ケーソンは、清水港湾事務所所有のケーソン製作場で製作し、完成後、台車に載せて斜路から海中に進水し、水面に浮かべた状態で海上を曳航して起重機船で位置を調整しながら注水して、あらかじめ海中に石で造られた土台（マウンド）に並べて据付します。

ケーソンの大きさは、高さ11m×幅14.5m×奥行き15.5mで、重量は約1,600tあります。

※高さ11mは3階建てのビル相当。

3. 日時・場所

(1) 作業日：平成25年11月22日（金）{予備日：23日（土）、25日（月）、26日（火）、27日（水）}

※ 作業日は海象条件の影響を受けるため、変更される場合があります。

(2) 作業時間（予定）

① ケーソン進水作業（ケーソンを台車に乗せて斜路から海中に降ろす）：7:00～10:00

※ ①の作業は当事務所のケーソン製作場で陸上から取材

② ケーソン据付作業（海上を曳航したケーソンを海中に設置）：11:00～12:30

※ ②の作業は当事務所所有の港湾業務艇「まさき」に乗船して、海上から取材



4. 取材

(1) 事前の取材申込

取材を希望する場合は、別添の「取材申込書」により事前にFAXにてお申し込み下さい。

※ 申込みの締め切りは、平成25年11月20日(水)12時までとさせていただきます。

※ 取材希望者が多数の場合、1社あたりの乗船人数を制限させていただく場合がございますので、予めご了承下さい。

(2) 作業当日の取材受付

① ケーソン進水作業(ケーソンを台車に乗せて斜路から海中に降ろす)

作業予定時間(7:30)頃にケーソン製作場(地図参照)に集合して受付してください。

② ケーソン据付作業(海上を曳航したケーソンを海中に設置)

10:50迄に船着き場(地図参照)に集合して受付してください。

※ 天候の状況により、作業日及び当日のタイムスケジュールを変更する場合があります。その場合は、取材申込をされた方へ当日の朝7:00頃までにご連絡差し上げます。



※地図は Google Map を使用



取材の際は、近くの有料駐車場をご利用ください。

5. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、
港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

6. 問合せ先：

取材申し込み : 国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課長 ^{のむら}野村
電話:054-352-4148 FAX:054-353-3072

作業当日の内容: 国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 保全課長 ^{むらまつ}村松
電話:054-352-4158 FAX:054-351-2318



7. 参考

(1) 事業の概要

【新興津海上コンテナターミナル整備事業】

□ 事業の内容

- 岸壁(-15m)(耐震)、泊地(-15m)、新興津防波堤を整備しています。
- 今年度は、防波堤の整備を進めます。なお、岸壁及び泊地は平成24年度に完了しました(平成25年5月25日供用開始)。

□ 事業の効果

- 新興津コンテナターミナルに大型船2隻が同時着岸することが可能となり、効率的な荷役を実現することで、産業立地環境の改善を通じて国際競争力強化を図り、静岡県・日本経済の発展に寄与します。

□ 今年度以降の作業について

- 今年度、ケーソン5函の設置を行い、防波堤延長を約78m延伸します。
- 大規模地震発生時の津波による被災によって、荷役活動に支障が生ずることが無いようにするため、今後、「粘り強い」構造への改良に着手していく予定です。



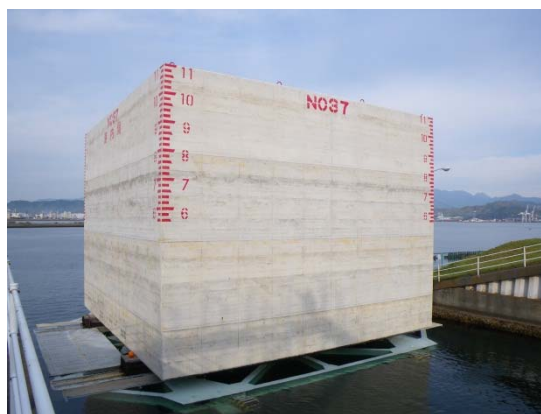


(2) 作業当日のタイムスケジュール (予定)

6:00~ 7:00頃	気象確認、当日の作業可否の判断	
7:00~ 8:00	ケーソン横引き<①>	(ケーソン製作場にて取材)
8:00~10:00	ケーソン進水<②、③>	(ケーソン製作場にて取材)
10:00~11:00	ケーソン海上曳航<④>	
11:00~12:00	ケーソン据付準備 (ワイリング, 1次注水)	} (船上より取材)
12:00~12:30	ケーソン据付 (位置決め) <⑤>	
12:30~13:30	ケーソン据付 (2次注水) <⑥>	



①ケーソンを横引きして台車に載せます



②台車に乗せたケーソンを海中に降ろします



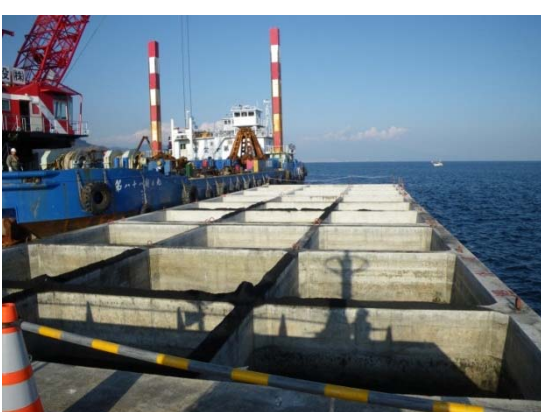
③ケーソンを海上に浮かせます



④ケーソンを据付場所まで曳航します



⑤ケーソンの据付位置を調整します



⑥ケーソンを据付します

送付先：国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課あて
FAX番号：054-353-3072

取材申込書

申し込み方法：以下にご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

会社名及び部署名	会社名： _____ 部署名： _____
取材者 ※全員分の氏名・役職 を記入願います。	代表者氏名： _____ 役職： _____
	同行者氏名： _____ 役職： _____
	同行者氏名： _____ 役職： _____
連絡先 ※代表者の連絡先を 記入願います。	電話番号： _____ FAX番号： _____

申し込み締め切り：平成25年11月20日（水）12：00必着

- ※ 取材希望者が多数の場合、1社あたりの乗船人数を制限させていただく場合がございますので、予めご了承下さい。
- ※ 天候の状況により、作業日及び当日のタイムスケジュールを変更する場合があります。
- ※ 作業日及び当日のタイムスケジュールを変更する場合には、取材申込をされた方へ当日の朝7:00頃までに連絡をさせていただきます。